

おたかぎ 社協だより

平成30年2月

第42号

今号の内容

- ② 社協会長 年頭の挨拶
／社協紹介
- ③ 福祉大会
- ④ 部署別 行事紹介
- ⑤ さくみち
- ⑥ 社協からのお知らせ

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619



いきいきクラブ事念仏参加

いきいきクラブでは南保育園、第二小学校一年生の子ども達と一緒に、江戸時代末期から伝わる伝統行事「事念仏」に参加しました。

「事念仏」は五穀豊穡や無病息災、家内安全を祈る行事で、お札を作ったり、馬を書いたり準備を一緒に行い、「南無阿弥陀仏」と唱えながら長い数珠を回し大きな玉が回ってくるとそれぞれ額に当てて願いを込めました。

【たかぎ社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金で発行しています】

年頭ご挨拶

『地域での支え愛助け愛』

喬木村社会福祉協議会

会長 桐生達夫



村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、社協の諸事業に温かいご理解ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

社協では、住み慣れた地域で、安心して暮らすことができるよう特養・デイサービスなどの介護保険事業、障がい者支援、地域福祉活動など行政や関係機関の協力を得て事業に取り組んでいます。

村の高齢化率は、34・6%と着実に高齢化が進んでいます。一人暮らし、老々世帯の増加が予測される中、高齢者の生活を地域で支える人材を養成するため、村と連携して生活支援・介護予防サポーター養成講座を昨年に続き開催します。

サロン活動支援事業は、村内にある20グ

ループのボランティアの皆様により運営されており、グループ数も増加しています。参加者の皆様がふれあい、笑い、頭を使うことで健康管理にも役立っています。

ボランティア活動は、村が本年4月に開設予定の多機能型施設（愛称…みんなの広場アスポ）には、ボランティアセンターも設置され、職員が常駐する予定です。ボランティア活動の拠点として、ボランティアの皆様始め、多くの皆様の利用により一層活発になることを期待します。

喬木村共同作業所さくらの園は、これまで村から社協が受託してきましたが、4月からは指定管理者制度に移行され、親愛の里が運営することになりました。長年に渡り利用者、家族、事業所、関係の皆様には大変お世話になりました。

福祉を取り巻く環境は厳しい状態が続き、本年は介護報酬の改定が予定され、どんな内容になるのか注目されます。又、人材確保は、介護員及び看護師の応募がなくやりにくくしている状況です。

将来に向け、誰もが安心して暮らすこと

ができるよう、地域とのつながりを進め、地域福祉サービスの向上に一層努めてまいります。

村民皆様の一層のご支援をお願いいたします。本年が皆様にとり幸多い年になりますようお祈り申し上げます。

社会福祉協議会とは…

社会福祉協議会は「社協」と略称でも呼ばれており、民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。昭和26年（1951年）に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、行政区ごとに設置されています。

社協は地域に暮らす皆様のほか、民生児童委員、社会福祉施設等の社会福祉関係者、保健医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住み慣れた町で安心して生活できる「福祉のまちづくり」の実現を目指した様々な活動を行っています。

第10回

喬木村社会福祉大会が
開催されました

平成29年12月3日(日)、喬木村福祉センターで第10回目となる喬木村社会福祉大会が開催されました。大会では、第一小学校合唱クラブによる美しい歌声からはじまり、村内の福祉功労者の表彰、認知症カフェ「なずなの会」と喬木中学校の福祉活動発表、短編映画『認知症と向き合う』の上映と飯田病院神経内科医 後藤由也氏による講演が行われました。認知症についての専門的な講演に、参加者の皆様も真剣な顔で聞かれていました。多くの皆様のご参加、ありがとうございました。



中学生 福祉活動発表

講演会「認知症について」
飯田病院 神経内科医
後藤 由也氏

喬木第一小学校合唱クラブ



「なずなの会」の認知症カフェ発表



物産店 手芸楽団いちご



福祉功労者受賞者

社協行事報告

社協の各事業所では、年末から新年にかけて多くの行事が行われました。
楽しそうな様子を写真付きで紹介します。



賑やかに華やかに
希望の旅クリスマス会



風邪に気を付けて
いきいきクラブ マスク作り



出来栄は上々？
喬木荘 生け花体験



素敵なおせちができました
共同募金 歳末おせち作り



一年の思いを込めて
喬木荘 書初め大会



熟練の技が光る！
宅老所 繭玉作り



御利益がありますように
デイサービス 新年会



鬼は外、福は内！
デイサービス 節分

さくみち

たかぎボランティア・地域活動情報誌



第35号

2018年2月発行

編集・発行

喬木村社会福祉協議会

ボランティアセンター準備室



2月出張ボランティアセンター

開催のお知らせ

「つるし雛作り体験教室」

【日時】2月28日(水) 10時～12時

【場所】第一公民館

2月の出張ボランティアセンターでは、ボランティアグループ「手芸楽団いちご」のみなさんが、つるし雛の作り方を教えてくださいたいです。かわいいつるし雛と一緒に、つくってお家に飾ってみませんか？コーヒィ、お茶も用意しています。ぜひお気軽にご参加下さい。

参加費200円、裁縫道具を各自持参ください。参加希望の方は2月22日(木)までに喬木村社会福祉協議会へお申し込みください。
※出張ボランティアセンターではボランティア等各種相談も受けつけます。ご利用ください。



今年も行いました！「手芸楽団いちご」

手作りバッグ指導 in 学遊館

1月25日、26日とボランティアグループ「手芸楽団いちご」のみなさんが、学遊館利用のお母さんたちに保育園で使う図書袋の作り方を指導しました。1対1で指導に付き、採寸の仕方やミシンの使い方など丁寧に教えてくださり、2日間に渡る指導で素敵な絵本袋が完成しました。



学遊館・保育園・デイに
鬼が来た！！

今年の節分も「まめかな」の皆さんによる鬼が学遊館・村内3保育園と社協デイサービスに登場しました。学遊館では鬼が登場すると、泣いてお母さんの後ろに隠れたり、一生懸命鬼に向かって豆を投げる子どもさんがいきました。今年もみなさんにたくさんのお福が訪れますように。



2/1(木) 学遊館での
豆まきの様子

募 金 方 法	件 数	金 額
個 別 募 金	1,246	1,227,068
法 人 募 金	54	337,000
職 域 募 金	15	17,498
窓 口 募 金	9	11,290
イ ベ ン ト 募 金	2	20,227
そ の 他 募 金	3	1,003
合 計	1,329件	1,614,086円

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございました

平成29年度喬木村内の募金結果を報告させていただきます。この募金は長野県共同募金会を通じて来年度再分配され、広域の福祉事業と喬木村の地域福祉に充てられます。

社協からのお知らせ

災害対応学習会開催 共募

社協では3月11日に喬木村防災センターで災害対応学習会を行います。災害時避難所での健康管理について、専門の知識を持った日本赤十字社の派遣指導員に教えていただきます。いざという有事の際に役立つ技術をこの機会に学びましょう。

【日時】 平成30年3月11日(日)

午後1時30分～3時30分

【場所】 喬木村防災センター2階

※参加費は無料です。

※詳細は全戸配布のチラシをご覧ください。

職員募集のお知らせ

喬木村社協では職員の募集をしています。

・介護福祉士(旧ヘルパー2級)

※資格が無くても福祉に関心のある方なら応募可能。

・看護師

募集人数・・・若干名

詳細は社協までご連絡ください。

ボランティアセンター設置について

村に多い多機能型施設『みんなの広場アスボ』が4月1日にオープンします。その建物の中にボランティアセンターが設置されます。

社協ではボランティア業務を現在の社協事務所からボランティアセンターに移転しボランティア担当職員も常駐します。

4月1日からのボランティア業務関連事務・相談等はボランティアセンターにお願いします。

ありがとうございます!!

皆様のご厚意に感謝いたします。



商工会女性部様

- 商工会女性部様 (金一封)
- 賜 洋子様 (座布団カバー)
- 酒井 了様 (タオル)

ご意見・ご要望を
お寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会

電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619

Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

